

## 研究課題名 未治療滲出型加齢黄斑変性に対するアフリベルセプト Treat and Extend 法の長期成績 に関する情報公開

### 1. 研究の対象

- ①50 歳以上の方
- ②滲出型加齢黄斑変性に対して今までに治療をされたことが無い方
- ③2013 年 1 月から 2016 年 12 月までに当院でアイリーア硝子体注射による治療を Treat and Extend (TAE) 法で開始し、3 年以上、治療が継続出来た方  
TAE 法: 注射に対する反応を確認しながら原則 2 週間毎に投与間隔を延長・短縮し、滲出型加齢黄斑変性の活動性が落ち着いた状態を維持していく方法で、注射の投与間隔は最大 16 週間となっています。
- ④TAE 法で治療している眼に対して、経過中に白内障以外の手術を受けた方は除外以上、①～④の全ての条件を満たす方が対象となります。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的：アフリベルセプト TAE 法にて治療した未治療滲出型加齢黄斑変性 (AMD) の長期成績について検討する。

研究方法：2013 年 1 月から 2020 年 9 月までの期間の当院電子カルテ記録より、対象となる方のデータを取り出して図表にまとめ、TAE 開始時、開始後 1 年、開始後 2 年、開始後 3 年、開始後 4 年における検査所見や臨床経過、網膜形態の変化の関連を分析する。

研究期間：実施承認日～2021 年 3 月 31 日まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：対象の方の性別、年齢、視力、視野、屈折、角膜曲率半径、角膜厚、眼軸長、眼底所見、光干渉断層計、光干渉断層計血管造影、眼底写真、蛍光眼底造影、細隙灯顕微鏡検査、罹病期間、現病歴、既往歴、家族歴、使用薬剤、同薬剤投与回数等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院眼科 病院助教 武内 潤  
電話番号 052-744-2278 (内線 2269)